

例

5-6-4 【様式例】記入（例）

【様式例 1】講習会受講実績及び業務内容等の確認

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認事項 記入様式例										
氏名又は名称 郵便番号、住所 代表者氏名 電話番号	J WWA 設備 〒000-1234 日水 協太郎 000-123-8118	印 □□市更新 26 番地								
<p>青字が記入例</p> <p>指定申請書と同様の押印 法人：代表者印 個人：申請者印</p>										
<p>①提出先の水道事業者（水道事業者等の連携による広域開催も含む）が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去 5 年以内）</p> <table border="1"> <tr> <td>受講年月日（受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。）（公表： 可 不可） 30 年 1 月 23 日 ・ 未受講 (未受講の場合、その理由) ※非公表</td> </tr> </table> <p>未受講の理由を記入（非公表）</p> <p>夜間・休日等の修繕対応時間など、記入内容は、水道事業者が判断</p>			受講年月日（受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。）（公表： 可 不可） 30 年 1 月 23 日 ・ 未受講 (未受講の場合、その理由) ※非公表							
受講年月日（受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。）（公表： 可 不可） 30 年 1 月 23 日 ・ 未受講 (未受講の場合、その理由) ※非公表										
<p>②指定給水装置工事事業者の業務内容</p> <table border="1"> <tr> <td>休業日、営業時間（修繕対応時間もご記入ください）（公表： 可 不可） 休業日： 日曜日、正月 3 が日 営業日： 月～土 修繕対応時間： 8 時～17 時 GW に連休</td> </tr> <tr> <td>漏水等修繕対応の可否（公表： 可 不可） (該当部に○をつけてください。詳細な内容を記入することも可能) 室内給水装置の修繕 埋設部の修繕 その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>漏洩時の修繕対応の可否や、その他欄を利用して夜間・休日等の対応についての記入も可能</td> </tr> <tr> <td>対応工事種別（ 新設 ・ 改造等 ）（公表： 可 不可） 配水管からの分岐～水道メーター（ 新設 改造 ） 水道メーター～宅内給水装置（ 新設 改造 ）</td> </tr> <tr> <td>その他の欄は、緊急時の連絡先など各水道事業者独自の確認に利用</td> </tr> <tr> <td>その他（公表： 可 不可）</td> </tr> <tr> <td>緊急時連絡先 0X0-XXXX-0000（代表者携帯）</td> </tr> <tr> <td>不可の場合は、非公表を希望として掲載しない。</td> </tr> </table>			休業日、営業時間（修繕対応時間もご記入ください）（公表： 可 不可） 休業日： 日曜日、正月 3 が日 営業日： 月～土 修繕対応時間： 8 時～17 時 GW に連休	漏水等修繕対応の可否（公表： 可 不可） (該当部に○をつけてください。詳細な内容を記入することも可能) 室内給水装置の修繕 埋設部の修繕 その他（ ）	漏洩時の修繕対応の可否や、その他欄を利用して夜間・休日等の対応についての記入も可能	対応工事種別（ 新設 ・ 改造等 ）（公表： 可 不可） 配水管からの分岐～水道メーター（ 新設 改造 ） 水道メーター～宅内給水装置（ 新設 改造 ）	その他の欄は、緊急時の連絡先など各水道事業者独自の確認に利用	その他（公表： 可 不可）	緊急時連絡先 0X0-XXXX-0000（代表者携帯）	不可の場合は、非公表を希望として掲載しない。
休業日、営業時間（修繕対応時間もご記入ください）（公表： 可 不可） 休業日： 日曜日、正月 3 が日 営業日： 月～土 修繕対応時間： 8 時～17 時 GW に連休										
漏水等修繕対応の可否（公表： 可 不可） (該当部に○をつけてください。詳細な内容を記入することも可能) 室内給水装置の修繕 埋設部の修繕 その他（ ）										
漏洩時の修繕対応の可否や、その他欄を利用して夜間・休日等の対応についての記入も可能										
対応工事種別（ 新設 ・ 改造等 ）（公表： 可 不可） 配水管からの分岐～水道メーター（ 新設 改造 ） 水道メーター～宅内給水装置（ 新設 改造 ）										
その他の欄は、緊急時の連絡先など各水道事業者独自の確認に利用										
その他（公表： 可 不可）										
緊急時連絡先 0X0-XXXX-0000（代表者携帯）										
不可の場合は、非公表を希望として掲載しない。										

* 公表には、ホームページ等への掲載を含みます。
* 業務内容に変更が生じた場合は、速やかに指定した水道事業者にその旨を届け出るようお願いします。

例

【様式例2】給水装置工事主任技術者等の研修受講実績等の確認

③給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去5年以内）

水道法施行規則 第36条

過去5年以内の受講の有無

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

受講者名については、公表対象外とする。

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施工技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

受講者名（公表対象外）	研修会名、実施団体	受講年月日
日水 協太郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	平成29年7月20日
日水 協次	自社内研修 ○○に関する業務研修	平成29年7月23日
自社内研修の場合は申し出のみとし、別途証明の書類や受講の事実を証明する押印は求めない。		
e-ラーニング、現地研修会で実施した場合、修了証や修了年月日が明示されたもの（主任技術者証）の写しなどで確認可能。 (p.31 5-6-2 参照)		
	可の場合は、公表を可能としていることから掲載する。	
上記の内容の公表の可否（公表には、ホームページ等への掲載を含みます。）		
可	不可	

外部研修については、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。

自社内研修については、研修内容を記載して下さい。

受講者名は、公表の対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

例

【様式例3】適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況等の確認

④過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況				
給水装置工事に主に従事した者				
<p>水道法施行規則 第36条</p> <p>法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）</p> <p>2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施工する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。</p>				
<p>工事を施工しない場合はチェック欄にレ点</p> <p><input type="checkbox"/> 「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施工しないため不要</p>				
<p>記載名については、公表対象外とする。</p> <p>工事実績がない場合は、直近の状況を記載してください。</p>				
技能を有する 者の氏名 (公表対象外)	水管への分水栓の 取付・せん孔、給水 管の接合、いずれの 経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか(○×を記入)	保有している資格等	工事 年度
日水 協太郎	○	○	講習会修了者	H30
日水 協次	○	○	検定会合格者	H30
社員A	○	×		H30
<p>上記内容の公表の可否</p> <p>可 <input checked="" type="radio"/> 不可</p>				
<p>資格を有していないなくても、経験を有し ていれば記入する。</p>				
<p>不可の場合は、非公表を希望として掲載しない。</p>				
<p>雇用関係又は下請け等も含み、給水装置工事 に主に従事した者の氏名等を記入する。</p> <p>※氏名については、公表対象外とする。</p>				